

年長児の保護者の皆様へ

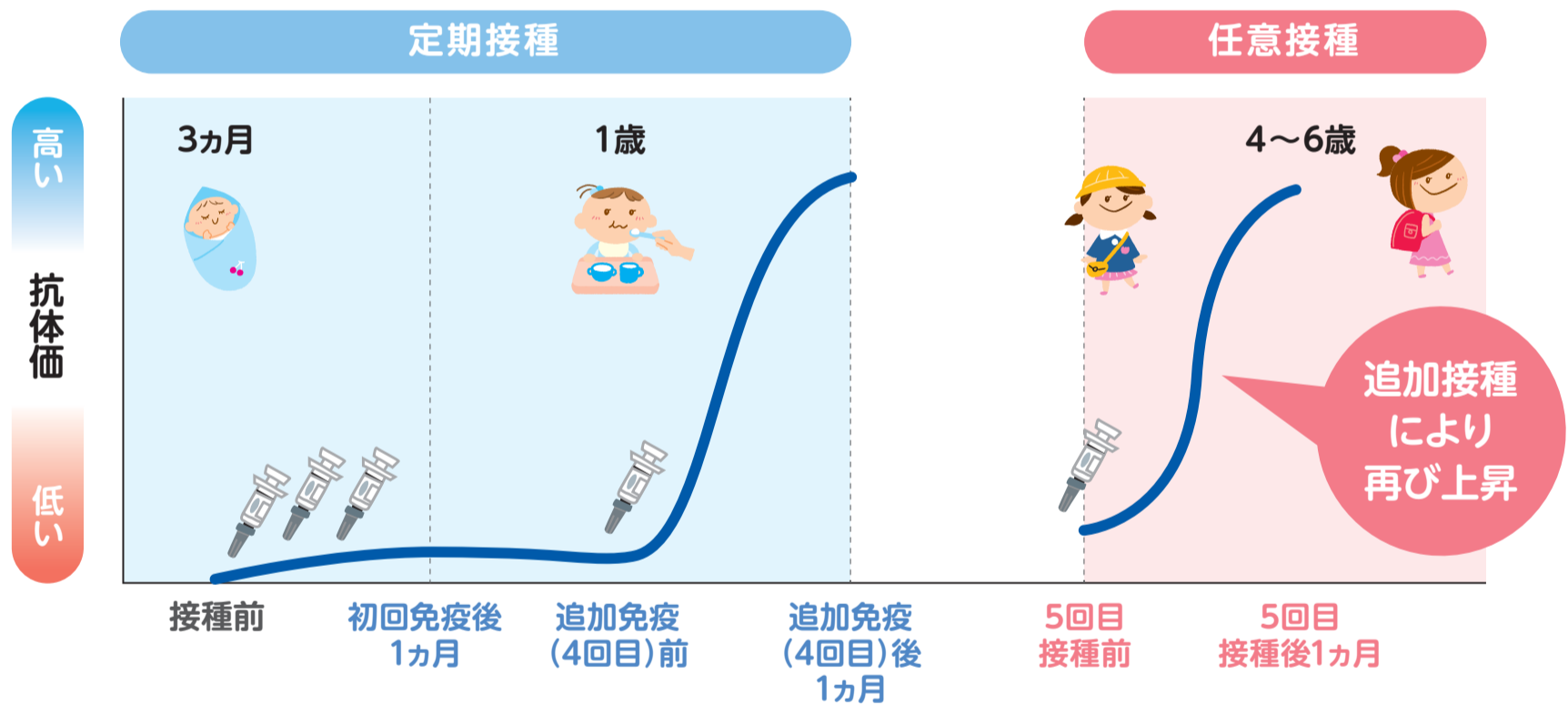


不活化ポリオワクチン 5回目接種 (任意接種) が可能です

- 不活化ポリオワクチンは、現在4種混合ワクチンに含まれ、定期接種で4回目接種までは行われています。
- しかしながら、接種から時間が経つと、抗体価が徐々に低下し¹⁾、再びポリオ発症のリスクにさらされます。
- この抗体価は、5回目接種により高く維持することができます²⁾。



不活化ポリオワクチン接種と抗体価の変化(イメージ図)³⁾



ポリオとは？

- ▶ ポリオは、重症な場合、手足の“まひ”などを引き起こし、後遺症につながります⁴⁾。
- ▶ ポリオには有効な治療法がなく、ワクチン接種が唯一の予防法です。



ポリオの後遺症により足に“まひ”が残った幼児

<http://www.cdc.gov/polio/us/photos.html>

1) 佐々木 津 他:小児科臨床 68(8):1557-1567, 2015
2) Voysey M, et al. Vaccine 34(35):4221-4228, 2016

3) もっと知りたいポリオワクチン(2018年2月26日アクセス:<http://www.vaccine-net.jp/importance/index.html>)
4) 国立感染症研究所,ポリオ(急性灰白髄炎・小児麻痺)とは(2018年1月23日アクセス:<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/386-polio-intro.html>)

詳しくは、当院の医師・スタッフにご相談ください。

もっと知りたいポリオワクチン 検索

<http://vaccine-net.jp>

